

No.37  
2020/1/15レジオン・ヴィヴィ  
—地域で暮らす—

# Region Vivir

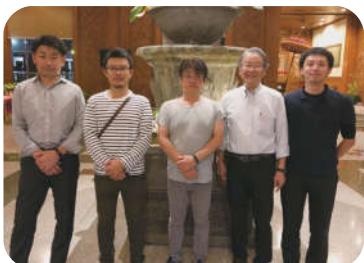
Region Vivirは、スペイン語で地域で暮らすという意味です。これからは障がいがあっても地域で豊かに暮らす時代だと思います。

## インドネシア国の看護大学生をインターンシップで迎え、 明日の介護職員を確保したい！

社会福祉法人 県央福祉会 理事長 佐瀬 瞳夫

2019年11月13日(水)～17日(日) 4泊5日 日本人5人でスラバヤ市・ジャカルタ市を訪問

インドネシア共和国は、日本人が訪れる観光地バリ島で有名な国です。面積は約 192 万平方キロメートル（日本の約 5 倍）、人口は約 2 億 5 千 7 百万人（2015 年）と東南アジアの中で最も大きい国でとても親日国家です。日程は 11 月 13 日から 17 日の 4 泊 5 日の強行スケジュールでした。インドネシアは飛行機で約 7 時間です。移動日を除く 3 日間でスラバヤ市内の 4 か所の看護大学と医療大学、1 か所の老人ホームを訪問し、ジャカルタ市内の 2 大学及び研修センターを訪問しました。



インドネシア・スラバヤ市内ホテルでの5人



ケデリ BAPTIS 看護大学 学長（女性）との記念撮影です。



大学内の立て看板は日本語で標記されています。



スラバヤ市内にあるケデリ看護大学で日本で働きたい学生への説明会風景



ケデリ大学の校舎の一部



コンピューター実習室



目次	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インドネシア訪問記（理事長 佐瀬瞳夫） ..... 1</li> <li>● トピックス 社会貢献活動&amp;表彰 ..... 4</li> <li>● 県央カフェ・レストラン紹介（ピッコリーナ） ..... 6</li> <li>● あしえて！！あなたの事業所（みどりのこかげ） ..... 7</li> <li>● ふれあいコンサート 2019 ..... 8</li> <li>● 新規事業所紹介 ..... 10</li> <li>● 2018・2019年度助成金受給・編集後記 ..... 12</li> </ul>
----	---

サントヨセフ老人ホームの入居者は、元気で明るく日本の唱歌を歌ってくれました。決してキレイで快適な環境ではありませんが、ホームの職員は全員シスターで献身的なケアをしていました。日本のような充実したプログラムがある訳でもなく充実した職員体制でもなく、宗教心からの介護です。専門的な理論にもとづく老人ホームとはいかないようで、ここで暮らす高齢者の方々は何らかの理由でこのホームで暮らすことになったのでしょうか。



イスラム教信者の学生は頭を覆うヒジャブを着用しています。制服のズボンによって学科が違うとのことでした。

カリアフサダ医療大学の学生は日本語で挨拶をしてくれました。  
元気で明るい学生たちに心がほぐれ親近感を持ちました。



マジャパヒト大学の入口

マジャパヒト大学学長との面談と学生との交流



国立ブラウィジャヤ大学（インドネシアで3番目の学力の高い大学）内にある障がい者支援研修センター前での障がいのある学生とその支援学生との記念撮影です。



障がいのある学生のための研修センターが大学内にあり、支援していました。聴覚・両腕のない学生・ASDの学生とその障がいは様々ですが、選任教員や学生有志がボランティアで支え合っていました。



国立プラウィジャヤ大学には日本語学部もあり、障がいのある学生との記念撮影です。この中にASD（自閉症スペクトラム）の学生もいました。

11月16日からはジャワ島の北部に位置する首都であるジャカルタ市の国立プラウィジャヤ大学とボロブドゥール（BOROBUDUR）大学を訪問しました。



ボロブドゥール（BOROBUDUR）大学校舎全景です。総合大学らしく明るく立派な校舎が目に付きました。



ボロブドゥール（BOROBUDUR）大学内に掲示してあった大学の理念やミッション等です。

インドネシアの単科大学や看護・医療大学（総合大学も）では、4年間で144単位を履修すれば卒業できるということでした。そこで、多くの学生は3年次又は4年次には、半年は国内の企業・病院等で実習し、残り半年は海外の企業や介護施設や病院等でインターンシップ制度を活用し様々な経験・体験をすることでした。最近では日本で働く前にインターンシップ制度で日本での介護施設等で経験したり、日本語を学びたいという学生が多くなっているとのことでした。



ボロブドゥール大学のキャリアセンター長と面談し、送り出し候補生の調整をどうするか話し合いました。やはり日本語能力をどう獲得するかが課題となっているといいます。



ジャカルタ市内のショッピングモールには多くの日本企業の看板が目に付きました。



ドラゴンフルーツでしょうか？

今回大変お世話になった現地（ジャカルタ市内）の送り出し機関BSD研修センターとそこで日本語を学ぶ地方出身者の学生さん達とも会ってきました。皆さん元気で日本で働くことを夢見ながら頑張っていました。送り出し機関のヨヨツク社長はまだ39歳のことでした。なかなか日本語が堪能でした。（了）



インドネシアの一般的な昼食のようです。



夢と希望に燃えて日本で働きたいという熱い気持ちが伝わってきました。

## トピックス 社会貢献活動 & 表彰

県央福祉会ではさまざまな社会貢献活動を行っています。今回は当法人初となる献血の活動を紹介します。また、福祉業界の発展に寄与した方々が表彰されましたので、その様子も併せてお伝えします。

### ■第1回「献血をしようよ」

2019年10月21日、大和さくらクリニックの駐車場で第1回「献血をしようよ」を開催しました。この取り組みは、県央福祉会の社会貢献活動の一環として行われたもので、日本赤十字社の協力のもと、実現することができました。

今回は県央福祉会の各エリアから64名の職員がエントリー。当日、体調不良などで献血ができなかった職員もいましたが、多くの職員が献血を行いました。

県央福祉会では、病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの大切な命を救う一助となるよう、今後も献血活動を推進していきたいと思います。



大和さくらクリニック駐車場に献血バスを停めて実施



当日の体調や既往歴など献血ができるかどうかチェック



献血バス車内の様子。リラックスした雰囲気の中で献血をしました



日本赤十字社の皆さんと県央福祉会の職員で記念撮影

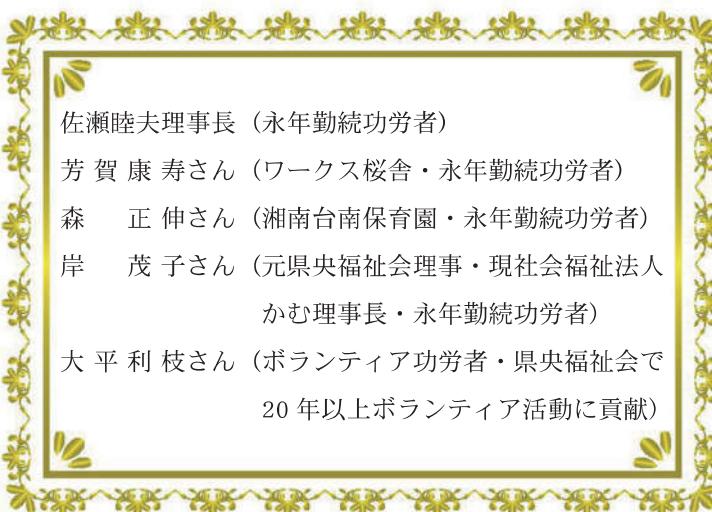
### 台風の復興支援に協力

2019年9月の台風15号と10月の台風19号が各地に甚大な被害をもたらしたことは記憶に新しいと思います。県央福祉会では10月11日、台風15号による千葉県の被災地支援と社会福祉に貢献すべく、神奈川新聞厚生文化事業団に50万円を寄託。また、台風19号については12月9日、神奈川新聞厚生事業団に114万8301円を寄託しました。法人内で復興支援をよびかけ、全事業所の協力により募金を集めました。今後も自然災害等の復興支援に法人一丸となって取り組んでいきます。

## ■第68回神奈川県社会福祉大会

2019年10月18日、神奈川県立青少年センター（横浜市西区）で「第68回神奈川県社会福祉大会」が開催されました。佐瀬睦夫理事長をはじめ県央福祉会の関係者5人が社会福祉関係功労者として神奈川県社会福祉協議会会长顕彰を受賞しました。

この顕彰は、永年にわたり神奈川県の社会福祉の発展に貢献し、功績のあった方々を称えたもので、今回受賞したのは以下の方々です。



受賞者の皆さん。左から森さん、大平さん、岸さん、佐瀬理事長、芳賀さん



黒岩祐治神奈川県知事の挨拶



藤原正治社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会会长より受賞者代表として表彰状を授与された岸さん

## ■第12回さがみはら介護の日大会

～みんなで支えよう 明日のさがみはらの介護～



2019年11月12日、相模原市立あじさい会館で「次代を担う介護職員等勤続表彰式」が行われました。金澤大雅さん（アイネットさがみはら）が相模原市内の介護サービス事業所で働く勤続5年表彰を受けています。金澤さんにとっての介護とは何かを伺っています。「自分にとっては常に勉強をさせてもらう機会であり、介護を通じて人生観が豊かになっていきます。これからは一緒に働く皆を引っ張っていく存在になっていきたいです」と笑顔で話してあじさい会館1Fロビーの展示物くれました。



笑顔で話す金澤さん

### 11月11日は「介護の日」

“高齢者や障がい者等に対する介護に関する啓発を重点的に実施するための日”として、国が2008年に定めています。

この趣旨に合わせて、市民が介護の仕事等について触れる機会をつくり、介護のイメージ向上を図るため、毎年11月に「さがみはら介護の日大会」を実施しています。

## 県央カフェ・レストラン紹介 Vol.3 ピッコリーナ

今回ご紹介するピッコリーナは、相模原市にある生活介護の事業所です。利用者さんの人数は10名程ではじまりましたが、今では28名の方が登録しています（定員20名）。年齢も20代～50代の方と、幅広く就労されています。仕事内容は、店舗業務と自主製品の制作等があります。

### 隠れ家的なカフェ



住宅街の中にひっそりとたたずむ、見つけると嬉しくなるような素敵なカフェです。静かに過ごせて、気軽に立ち寄れるというお店の雰囲気が魅力です。常連の方が少しずつ増え、週に2回来てくださる方もいます。



店内の様子



色鮮やかなメニュー

カフェには、1枚90秒といった速さで焼きあがる本格的なピザ窯があり、7種類のピザをお客様に提供しています。その他にもキーマカレー、ナポリタン、デザート、飲み物等があります。どれもお客様からは好評で、ピザとキーマカレーが特に人気だそうです。



店内には販売コー



自家製ブレンドハーブティー

ナーも豊富にあり、ピッコリーナで作っている製品やシフォンケーキの他に、近隣の事業所等で作られたお菓子や製品も販売しています。ど



お客様を迎える利用者さん

れも素敵なデザインで温かみのある商品ばかりです。

### 大事にしていること

ピッコリーナは、働く利用者さんと職員、そしてピッコリーナを支えてくださっている地域をとても大事にしています。

今回の取材では、事業所管理者の細田所長にお話を伺いました。「利用者さんにとって居心地が良い職場にするためには、ピッコリーナの一員として仕事にやりがいや自信を持つことが



オリジナルブレンドのコーヒー豆

重要です。利用者が自分でできるという喜びを持てるように、仕事の環境や道具には視覚的な支援を取り入れています。計量器のメモリに印を貼ったり、冷蔵庫の各扉に番号を振って物の場所を分かりやすくするなど、自立してで

きる部分が増えるように工夫をしています。経験を積んで慣れた方たちの中には、レシピが無くても作れる方もいて、皆さん一人ひとりが生き生きと仕事をしています」

利用者さんの力を引き出す役割として、職員も専門性を持って、利用者さんとコミュニケーションを取りながら、得意なことを生かして仕事ができるように日々向き合っています。その中で職員もまたやりがいを持ち、温かく利用者さんを支えています。

そして地域に根差したお店となるよう、地域との繋がりをとても大事にしています。カフェの販売コーナーには、地域の事業所で作られた商品が多く取り揃えられています。また、利用者さんがコーヒー豆の選別を行い、地域のお店と提携してコーヒーの販売もしています。



おいしいピザを焼くためのオーブン

### 記者の目

これからも積極的に地域との繋がりを大事にしながら、利用者さんが誇りをもって仕事ができるようにしていきたいと、細田所長は熱い思いを語ってくださいました。

私が取材をした際にも、お客様を温かく迎えて会話を楽しむ姿がとても印象的でした。地域にとって大切な存在のお店になっていると感じました。

(取材・執筆 広報委員会 委員 南條友佳)

### 事業所データ

住所 〒252-0238 相模原市星が丘 4-16-16-1  
TEL 042-786-6086 FAX 042-752-1563

## おしえて！あなたの事業所～“緑区障がい者後見的支援室 みどりのこかけ”～

『横浜市障害者後見的支援制度』をご存じでしょうか？ 成年後見制度ではありません。障がいのある方が安心して地域で暮らせるように（まさに“Region Vivir”！）見守るという、横浜市独自の制度です。各区に 1ヶ所設置、みどりのこかけは緑区の支援室として 2014 年 3 月に開所しました。

この制度では、主に 3 つのことを行っています。

**①定期的な訪問や面談**…生活の見守りと本人理解のために、自宅や通所先を訪問したり事務所に来ていただいたりして、直接お会いします。言葉でのやりとりが難しい方とも、会って表情や仕草などどうかがい、理解するようにします。

**②お話を聞くこと**…将来の漠然とした不安、また最近のご本人の様子についてお話を聞きます。助言や指導はせず、傾聴し、寄り添っていきます（いま困っていることが特に無くても、定期的に話していただくことで、今の気持ちの整理や、ご本人の発信力の向上にもなっています）。

**③支援のネットワーク作り**…支援者や地域の方など、複数の方に本人を知つてもらえるようにつないでいきます。何か対応すべき課題が出てきたときには、しかるべき機関につなぎます。

※できないこと…直接介助して手伝うこと、契約など手続きの代行、金銭管理、医療同意や身元保証。

この制度の目的は、問題を直接解決することではなく長いおつきあいを続けていくこと。それはもともとこの制度が、障害のあるお子さんのいるご家族が、自分たちがいなくなったら子どもはどうなるのだろうか、親が配慮してきたことをどう伝えたらいいのか、漠然とした不安を聞いてほしい、という意見から作られた制度だからです。

ご登録できるのは、横浜市にお住まいの 18 歳以上で障がいのある方です。2019 年 9 月現在で、緑区のご登録者はのべ 93 名になりました。知的障がいの方が 7 割を占めています。

ご本人のことを知ってほしい・“親なきあと” 将来について考えていきたい・知り合いを増やしたい…ご登録のご希望はどうぞ、みどりのこかけ他、各区支援室まで。出張での制度説明会も行いますので、お問い合わせください。 (取材・執筆 広報委員会 委員 大越絵里子)

### 事業所データ

住所 〒226-0019 横浜市緑区中山 1-10-28

中山ガーデンハウス 102

TEL 045-508-9909 FAX 045-530-0860



# 「ふれあいコンサート

# 2019」開催♪

会場との一体感が印象的なコンサートに

2019年11月15日、やまと芸術文化ホールメインホール（大和市文化創造拠点シリウス大ホール）にて、『ふれあいコンサート 2019』が開催されました。

ふれあいコンサートは県央福祉会後援会が主催、県央福祉会が共催、大和市社会福祉協議会と社会福祉法人やまねっとが後援として行われ、今年で14回目を数えました。今回は約700名の方が参加されました。

今年は、一昨年素敵な音楽を届けてくださった“アルカディア・デュオと仲間たち”の皆様



をお迎えしてのコンサートで、法人の各事業所から多くの方が来場され、今か

フルート奏者の並里善史さん 今かとコンサートの開始を待っている様子でした。

フルート奏者の並里善史さんの『トルコ行進曲』演奏で第一部が始まりました。きれいな音色の後には、パーカッションとギターも加わり、賑やかな空気に包まれました。

休憩をはさんで、第二部がスタート。ボーカルの小林杏里さんの素敵な歌声に音楽教室のお母さん方、子どもたちも加わって歌が始まりました。

2曲目の『学園天国』では 小林さんと会場 壇上で歌う皆さん



の掛け合い『Are You Ready?』—『Yeah!』で会場の熱気が高まりました。最後の曲の『世界に一つだけの花』も皆で手拍子や手を振るなどして会場と一緒に歌い、大いに盛り上がって

いました。終わった後には『アンコール』の声があがり、そのアンコール曲の『花は咲く』も会場と一体になって歌いました。歌い終わった後には今度は大きな拍手が響き渡りました。



ボーカルの小林杏里さん



歌と演奏で『心にしみる音楽を』

## 演奏された曲目

### 第一部

- トルコ行進曲 ○子守唄メドレー
- 有菜の花 ○ティコティコ ○星に願いを
- チャルダッシュ

### 第二部

- 夢をかなえてドラえもん ○学園天国
- 約束のマーチ ○アイウィルフォローヒム
- 世界に一つだけの花
- ☆アンコール「花は咲く」

(取材・執筆 広報委員会 委員 安達祐二)

## 新規事業所紹介 「レガート福田北」



レガート福田北は、2019年9月大和市柳橋に共同生活援助（グループホーム）の事業所として開所しました。設立の経緯は、元々あった第4ゆりの木ホームの老朽化が進んでいたことと、グループホームに求められるニーズとして将来的には日中サービス支援型グループホームとして機能していくことを考慮しての設立となりました。

共同生活援助の定員は10名。その他、短期入所を2名設けています。2019年9月現在、第4ゆりの木ホームで生活されていた5名の方が2階に入居されています。入居者さんは全員男性で、平均年齢は40代半ばです。入居者さんの障害支援区分は平均5とのことで、比較的重度の方が入居されています。

2019年現在レガート福田北の職員体制は、常勤2名、非常勤2名の体制で入居者さんの支援を行っています。夜勤は現在職員1名で対応しています。



温かさと開放感にあふれたリビング

土日祝日は、週末帰宅の方が大半ですが、入居者さんがいる場合は職員と一緒に外食に行かれることもあります。

食事は、夕食はふきのとう舎の配食を利用しています。朝食は職員が作って提供しています。（ご飯、味噌汁、炒め物、野菜、卵など）。入居者さんは、皆食事をとても楽しみにされているとのことです。

レガート福田北の特徴は、設備等のハード面がとても充実しているところです。トイレが1、2階にそれぞれ3カ所ずつあります。トイレやお風呂は広々として使いやすく、バリアフリーとなっています。



入居者の津志田由夫さん。



浴室の清掃はお手のもの



浴室は個浴で家庭的な雰囲気



広々としたトイレ

廊下も広く、敷材もクッション性に優れています。セキュリティ対策も万全を期していて、介護用カメラを搭載して入居者さんの暮らしの安心を支えています。大型家具は地震の際に転倒しないよう、建て付け型を採用しています。エアコン等の空調設備も最新のものを取り入れ、快適な暮らしを実現しています。ソフト面では、自治会にも入り、地域の交流イベントに積極的に参加をしています。

最後に管理者の小玉所長よりメッセージをいただきました。

「職員が一致団結して新たなグループホーム

である『レガート福田北』を作っていくこうとしている気概を感じています。そのことがとても心強いです。

今後、日中サービス支援型を考えるにあたり、入居者さんの余暇の充実を図っていきたいと思います。まずは外食をはじめ、半日や1日の外出レクを考えていくみたいです。今後のグループホーム『レガート福田北』にご期待ください

(取材・執筆 広報委員会 委員 坪田健太郎)



居室には室内乾燥用の折り畳み式物干しを設置



介護用カメラは映写角度の調整が可能で、プライバシーを配慮したものになっている



職員が快適に休憩できるよう畳張りのベッドを設置。  
使用しないときには、打合せスペースとして活用



事務室の家具は建て付けタイプで、  
余裕の収納スペースを確保



落ち着いた雰囲気のエントランス

#### 事業所データ

住所 〒242-002 大和市柳橋 2-8-13  
TEL 046-204-6484 FAX 046-204-6485

## 新 施 設 紹 介

## ● レガート福田北（大和市）

設置日：2019年9月1日  
 事業内容：共同生活援助  
 住所：〒242-0022 大和市柳橋 2-8-13  
 TEL：046-204-6484



## 2018・2019年度助成金受給

## いーじやんホーム（横浜市）

助成品目 軽ワゴン  
 助成団体 共同募金会

この度は、車両購入の配分金をいただき車両を購入することができました。今まで使用していた車両が古くなってしまい、買い替えなければいけない状態だったのでとても助かっています。通院同行や日々のお買い物に使用させていただいている。皆様の善意に感謝いたします。



## ワークステーション・菜の花（大和市）

助成品目 浄化槽改修工事  
 助成団体 共同募金会

7～8年使用するなかで、槽内に異物が混入するなど浄化の機能が低下していました。今回、配分金をいただき槽内の改修工事をすることで目詰まりが解消され、快適な環境を取り戻すことができました。職員・利用者さんともども大変喜んでおります。ありがとうございました。



## ワークス船堀（大和市）

助成品目 日産セレナ  
 助成団体 共同募金会

日産セレナが事業所に届きました。大勢乗ることができるので、日々の活動やレクなどにとても助かっています。新しい車に、職員も利用者さんもとても喜んでいます。大切に使わせていただきます。ありがとうございました。



## 三浦創生舎（横浜市）

助成品目 トイレ改修工事  
 助成団体 共同募金会

今回4か所のトイレを新しく入れ替えさせていただきました。館内全てのトイレが温水洗浄便座となったことで「ヒーター付きトイレの取り合い」と「水漏れ」が解消しました。

皆もとても喜んでいます。ありがとうございました。



前号の発行より4ヶ月が経ち、無事今号の発行と相成りました。これもひとえに皆様方のお力添えがあったからこそです。誠にありがとうございます。前号では不慣れなこともあり難儀した部分もありましたが、今号では楽しんで編集をさせてもらいました。今後も委員の皆で頑張って参ります。次号も暖かく見守つて頂けると嬉しく思います。  
 (抱井 健二)

## 編集後記

## 編集委員

スカイキング 抱井 健二

法人本部 青木 久

緑区障がい者後見的支援室

みどりのこかげ 大越 絵里子

法人本部 安達 祐二

児童発達支援センター いっぽ 南條 友佳

海老名市立わかばケアセンター 坪田 健太郎

かたくりの里 桑原 大輔